



マルホンの

スマイル



巻頭
特集

「在宅緩和ケア」医として1年を経て思うこと



森田クリニック
院長
森田 廣樹 先生

昨年（平成27年）7月21日に高崎市浜川町に開業させていただいた森田と申します。そこから、以前から興味のあった緩和ケア、その中でも「在宅緩和ケア」の世界に

足を踏み入れました。多職

種の方とのいい出会いがあり、開業して1年たちませんが、19人の最期に関わさせていただき、今現在、80人以上の方を住み慣れた場所で診させていただいております。主には、癌末期の方が「最期まで精一杯、その人らしく生きる」手伝いをさせていただいております。もちろん自分一人でできることではありません。訪問看護、訪問介護、訪問薬局、訪問リハ、ケアマネージャー、福祉用具・・・さまざまな方との連携で成り立つことです。そこに医療材料を提供していただくマルホンさんもまた然りです。

癌末期の方が退院される際、スピード感が必要なことがあります。そんな時、休日でもスピーディに対応してくれる「マルホン」さんは、心強いです。つい先日も入院中使用していた

酸素を、退院後は必要ないとのことで準備をしていなかった癌末期の方が、退院日になって急に不安となり、急遽在宅酸素導入の運びとなりました。休日にもかかわらず、患者さんが帰宅して10分ほどで酸素機械が設置されました。そのようなスピード感は、在宅で過ごす患者さんの安心に直結します。僕らにとって、そして患者さんにとってありがたく頼りになる存在だと思います。

地域包括ケアが叫ばれていますが、そこにはこういった連携が本当に重要だと感じ、またその連携をスムーズに行ってくれているマルホンさんをはじめ、多職種の方に感謝しています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

ホームページ：<http://moritaclinic.jp/>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/mrtclinic>



森田クリニック様（高崎市浜川町278-1）



いきいき HOTさん

群馬県
渋川市

鈴木 芳平 さん (88)

動くと息切れが激しく、その都度休んで静まるのを待って動く日々が続いた。妻子に酸素を吸うようにすすめられたがなるべく文明の利器を使わずに、野性的な人間の自然治癒力を信じたかつた。しかし、夜睡眠中、午前3時頃になると息苦しくて寝ておれない日が続き、遂に観念して病院に行った。その夜から酸素吸入をして、睡眠中の息苦しさはなくなり、安眠出来るようになった。酸素吸入の威力に感心し、現代医学の進歩に感謝した。

私は20歳の学生時代、左胸強痛を渋川病院で診断してもらったところ、左肺浸潤と診断され、絶対安静を命じられ、肋膜の間に空気を入れて肺を押しつぶす気胸療法をすることになった。続けているうちに半年後、熱が出て、肋膜に水のたまる湿性肋膜炎を併発してしまった。そこで大日向荘に入荘した。「ここに入ったら、表から出ることはない。みんな裏から大八車に乗せられて出るのだ」と先輩から発破をかけられた。当時、結核の治す方法とすれば、大気、安静、栄養の自然療法の他は気胸しかなかった。私はここで左胸肋膜に貯まる水を抜きながら気胸を続けた。快方に向かい始めた1950年の12月末日、検査のために左胸に刺した青い液に黴菌が入っていた。その夜から熱が出始め、40度の熱が3ヶ月も続き、左胸、左腕は膿で膨れ上がり、注射針を刺したところから膿が流れ出してきた。寝巻と布団が汚れるので、膿の出る穴にゴム管を差して、毎日ゴム管の栓を開けて膿を出した。熱は下がってきたが、体は寝たきりになった。春が来て、秋が来て、正月が来て、また次の正月がきて、毎日コップ1杯の膿を出すのが私の生活になった。こんな毎日を2年半も送っていた頃、転勤していった看護婦さんから「これを使って下さい。きっとよくなると思います。」と言って、沢山のペニシリンが送ってきた。感

謝しつつこれを膿の出る肋膜腔に注入したら、効果は素晴らしい、膿は水となり、それも出なくなり、ゴム管も不要となり、そのまま治ってしまった。生き返った喜び。私はペニシリンの威力に驚嘆した。先人の努力に心から感謝した。体力が次第についてきて、歩くことも出来るようになった。病院の医師は、「右の肺の空洞は成形手術(肋骨を数本切り詰めて肺を押しつぶす)をしましょう」と言う。家の方では、私の長期療養が家計を圧迫し、父も姉も発病して、入院を継続する資金はもうない。「よし、退院して働く」そう決心して私は大日向荘を退荘することにした。今まで医師の診療を信じ、それを忠実に守ってきたが、これからは「自分の体は、自分で治そう」そう決意した。

6年振りに自宅に戻り、体を慣らしながら、勤めに出た。体をいたわりながら働いているうちに体力が付き、仕事が面白くなり、夢中になってきた。結核はどこかに行ってしまった。結婚して所帯を持ち、子供が4人、立派に育った。有難いことである。

現在は、玄米をよく噛んで食べ、野菜の漬物、鰯や小魚等を食べ、牛乳は飲まずに青汁を飲んでいる。そして、草むしり等自分でできる仕事は自分でするようしている。世界では、戦乱で逃げ惑う人達、貧困で食べるもののない大勢の人達をテレビで見るにつけ、平和で豊かな日本は有難いなあと思う。その上、高価な酸素をふんだんに吸って生きてゆける毎日を本当に有難いことと思っている。



2015年4月 妻と子ども達家族と四万温泉へ

イラストでわかる! 「日常動作のコツ」



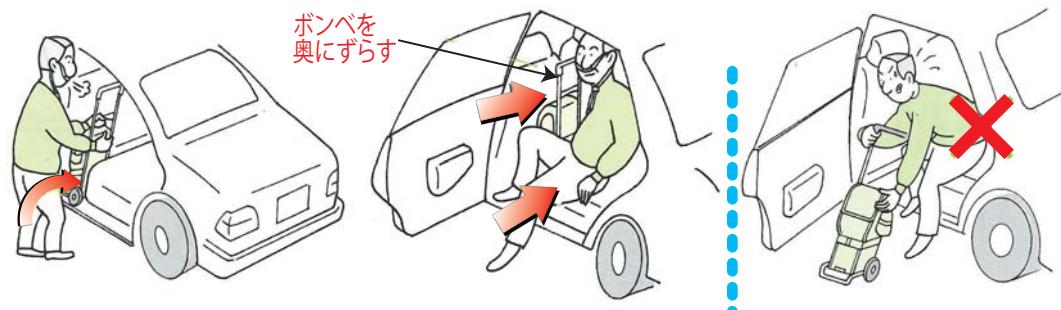
8 車の乗降 りり

ご自分で運転しない場合 編

前回に引き続き、苦しい動作が多くなる「車の乗り降り」動作のコツについてご紹介します。

今回は患者様ご自分で運転しない場合編です。

車の乗り方



車の降り方



カートを持ち上げるときは

出典:「楽にできる!日常生活動作のコツ」帝人ファーマ(株)

HOTの安全情報

熱中症を予防しましょう

熱中症とは

高温多湿な環境の中、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温調節機能がうまく働かなくなり体調不良になる状態のこと。

熱中症の重症度と症状

- めまい、たちくらみ、こむら返り、大量の汗など
- 頭痛、吐き気、倦怠感など
- 意識障害、運動障害、けいれん、高体温など

熱中症が疑われたら

- 風通しの良い日陰や冷房の効いた室内に移動する
- 衣服を緩めてうちわなどであおいだり、冷たいタオルで体を冷やす
- スポーツドリンクなどで水分を少しづつ補給する

*症状が改善しなければ受診しましょう。水を自力で飲めない場合や重症度3は迷わず救

急車を呼びましょう。

ちょっと変だな？



予防

- 室内の風通しを良くするなど部屋の温度や湿度に気を付ける
 - 通気性の良い服や日傘、帽子で暑さを避ける
 - 小まめに水分などを補給する
 - 急に暑くなる日など、体が熱さに慣れていないときは注意する
 - 体調の悪い時は日中の外出や運動は避ける
 - 炎天下や暑い場所での作業や運動は避ける
- *特に高齢者は、「暑い」と感じにくく、発汗量も少ないため特に注意が必要です。喉の渇きも感じにくいので、渴いたと感じなくても小まめに水分を補給しましょう。

Vol. 28 頑張ってます!

HOTな社員

こんにちは。岡田秀平です。前職は介護施設に勤務していました。昨年の4月にマルホンに入社して1年3ヶ月が経ちました。1年間中毛エリアで配送をして、今年の3月から担当の病院を持たせていただき、諸先輩方のご指導の下、営業の仕事を始めています。

趣味はスポーツで、学生時代やっていたテニスを休みの日にしています。また2年ほど前からスケボーにも



おかだ しゅうへい
岡田 秀平

血液型： A型

好きな食べ物：かつ丼

苦手な食べ物：ナス

欲しいもの：寝室にテレビ

取り組むようになりました。まだまだ不慣れな点が多く、皆様にご迷惑をかけてしまう事もあるかと思います。早く仕事を覚え、余裕をもって楽しく仕事ができるよう頑張っていきます。皆様がより良い生活が送れるようにサポートさせていただきますので、アドバイスがあれば是非お声かけください。

編集後記

◆私お気に入りの群馬出身のミュージシャンがデビュー35周年を迎えました。最近も高崎のライブで元気な姿が見ることができ、嬉しい気持ちMAXになりました。(なお)

◆8月になり夏本番です。我慢をせずに空調等をうまく活用して体調管理をしっかりして暑い

夏を乗り切りましょう。(くろ)

◆いつも使用しているパソコンの調子が悪くなりましたが機械オーナーの自分にはどこが悪いのかさっぱりわかりません。ということで新しいパソコンの購入を決めました。(オカ)

